



# Press Release

オルガノ株式会社  
問合せ先

〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8  
経営企画部 企画グループ 七海 (TEL.03-5635-5111)

2010年7月13日

## 第4回オルガノ（水質及び水環境）奨学金の受賞者を決定

当社は2007年より、中国における水環境保全技術の発展に貢献している研究者を対象に、奨学金を通じて支援する事業（通称：オルガノ賞）を行っております。

中国政府は近年、産業振興と同時に水質汚濁防止政策を強く推進しており、水環境保全技術の研究も活発に行われています。当社は中国科学院生態環境研究センター及び蘇州工業園区と共に、中国における水環境保全技術の研究に携わっている中国在住の大学院生を対象に募集、優秀者の選考と表彰を行いました。

### 概要

- 【名称】 第4回オルガノ（水質及び水環境）奨学金（通称：オルガノ賞）
- 【目的】 中国における水環境保全技術の発展に貢献している研究者の支援
- 【対象】 中国在住の博士課程もしくは修士課程の大学院生  
研究テーマ：水環境保全技術全般に関するもの
- 【主催】 中国科学院生態環境研究センターおよび蘇州工業園区
- 【賛助】 オルガノ株式会社およびオルガノ（蘇州）水処理有限公司
- 【募集期間】 2010年3月16日～5月31日
- 【選考方法】 選考委員による投票（一次選考：書類審査、最終選考：プレゼンテーション審査）
- 【最終選考】 2010年7月9日 会場：中新生態科技城
- 【奨学金】 一等賞 10,000 元、二等賞 5,000 元、三等賞 2,000 元

今年では過去最高の62名の学生より応募がありました。最終選考会および表彰式は、2010年7月9日、蘇州工業園区内の中新生態科技城にて行われ、一次選考を通過した11名の中国在住大学院生の中から一等賞（奨学金 10,000 元）として呉乾元氏（清華大学）、王鑫氏（哈爾濱工業大学）の2名を選出しました。また、二等賞（奨学金 5,000 元）として9名を選出しました。

### 受賞者

【一等賞（奨学金 10,000 元）2名】（敬称略）

受賞者1	吳乾元 Wu Qian-Yuan（清華大学、専攻：環境科学工学 博士課程）
タイトル	Effects of Chlorine Disinfection on Estrogenic Antiestrogenic Activities and Genotoxicity of Reclaimed Water
タイトル（和訳）	回収水に含まれるエストロゲン及び抗エストロゲンと、その遺伝毒性に対する塩素消毒の効果について
受賞者2	王鑫 Wang Xin（哈爾濱工業大学、専攻：環境科学工学 博士課程）
タイトル	Development of Inexpensive Microbial Fuel Cells
タイトル（和訳）	低価格微生物燃料電池の開発について

【二等賞（奨学金 5,000 元）9名】（敬称略、順不同）

曹广麗（哈爾濱工業大学）、楚文海（同濟大学）、郭建華（哈爾濱工業大学）、韓朮鑫（山東大学）、何广智（中国科学院生態環境研究センター）、毛亮（南京大学）、譚靚（大連大学）、吳兵（南京大学）、臧国友（中国科学技術大学）

### ○オルガノ（水質及び水環境）奨学金

近年中国では環境保全を重要視しており、国をあげて取り組んでいることから、本事業は中国において水環境保全技術に携わる研究者の支援を目的に、研究業績を評価し優秀者を表彰する活動として2007年から開始した。第4回目となる本年度は、中国科学院生態環境研究センターおよび蘇州工業園区が主催し、オルガノおよびオルガノ（蘇州）水処理有限公司が協賛。参加資格は、中国在住の博士課程もしくは修士課程の大学院生。募集テーマは水環境保全技術に関するものとした。

選考は一次選考と最終選考に分かれ、書類による一次選考では優秀な成果を挙げている11名を選出。最終選考では各学生がプレゼンテーションを行い、選考委員の投票により受賞者2名を決定した。



開会式の様子  
中国科学院生態環境研究センター曲久輝主任（左）、  
オルガノ橋本喜代志社長（中央）、蘇州工業園区管理  
委員会 黄海濤（右）

選考委員は関連分野の著名な専門家により構成され、選考委員長の中国科学院生態環境研究センター曲久輝主任・教授をはじめ、哈爾濱工業大学・任南琪教授、清華大学・胡洪營教授、中国科学院生態環境研究センター・楊敏教授、西安建築科技大学・王曉昌教授、上海交通大学・張振家教授、同濟大学・周琪教授、華南理工大學・韋朝海教授、およびオルガノ開発センター企画管理部兼第一開発部・明賀春樹部長が務めた。特に選考委員長の曲主任、及び選考委員の任教授は、今年中国工程院院⼠(※)に選出され、環境工学分野の TOP に認定されている。



一等賞受賞者 吳乾元氏(右)、王鑫氏(左)

※工程院院⼠とは

工程院(Chinese Academy of Engineering)とは、中国国内の工学分野における戦略や研究を担う最高峰の学術機関。その院⼠に選出されるということは、学術界の TOP であることを意味しており、名誉、地位、待遇が終身で保証され、また政府、業界に大きな影響力を持つことになる。院⼠は2年ごとに約20名程度選出され、その中で環境分野に関しては通常1名いるかないないのだが、今年是中国全土で4名が選出された。このことから、中国が環境保全に力を入れていることが伺える。

#### ○中国科学院生態環境研究センター

前身は中国科学院環境化学研究所で1975年に設立された。所在地は北京にあり、300名ほどの研究員が在籍している。中国政府は1996年5月、同センターと国家環境保護総局を環境分野における主管機関に据えた。主な研究分野は環境化学、環境工学、システム生態学などであり、地域的なものから全国的、グローバルな環境問題を研究・解決している。また同センターは、「環境科学学報」「Journal of Environmental Sciences」など国家自然科学重要刊行物と、数種の海外出版物の中国語版の編集・出版なども手掛けている。

#### ○蘇州工業園区

蘇州工業園区は、中国とシンガポール両国政府間の合作プロジェクトによって設立された特殊政策の工業開発区。蘇州旧市街の東側にある金鷄湖の辺に位置し、上海から約80km、面積はおおよそ260km<sup>2</sup>。優遇税制政策、外資プロジェクトに対する金額無制限の認可権限、独立する税関と輸出入通関機能等を揃え、高いインフラ整備率、豊富な人材、さらに優れた生活環境と勤務環境によって、IT産業、精密機械、生物製薬、新素材等のハイテク産業が数多く進出している。産業振興と同時に水質汚濁防止政策など環境保全活動も活発に行っている。

当社は今後も中国の水環境保全技術発展に向けた取り組みの一環として、将来性のある研究者の支援を継続して行ってまいります。

以上